

新金沢型 学校教育モデル

未来を創る子どもたち



令和7年4月から

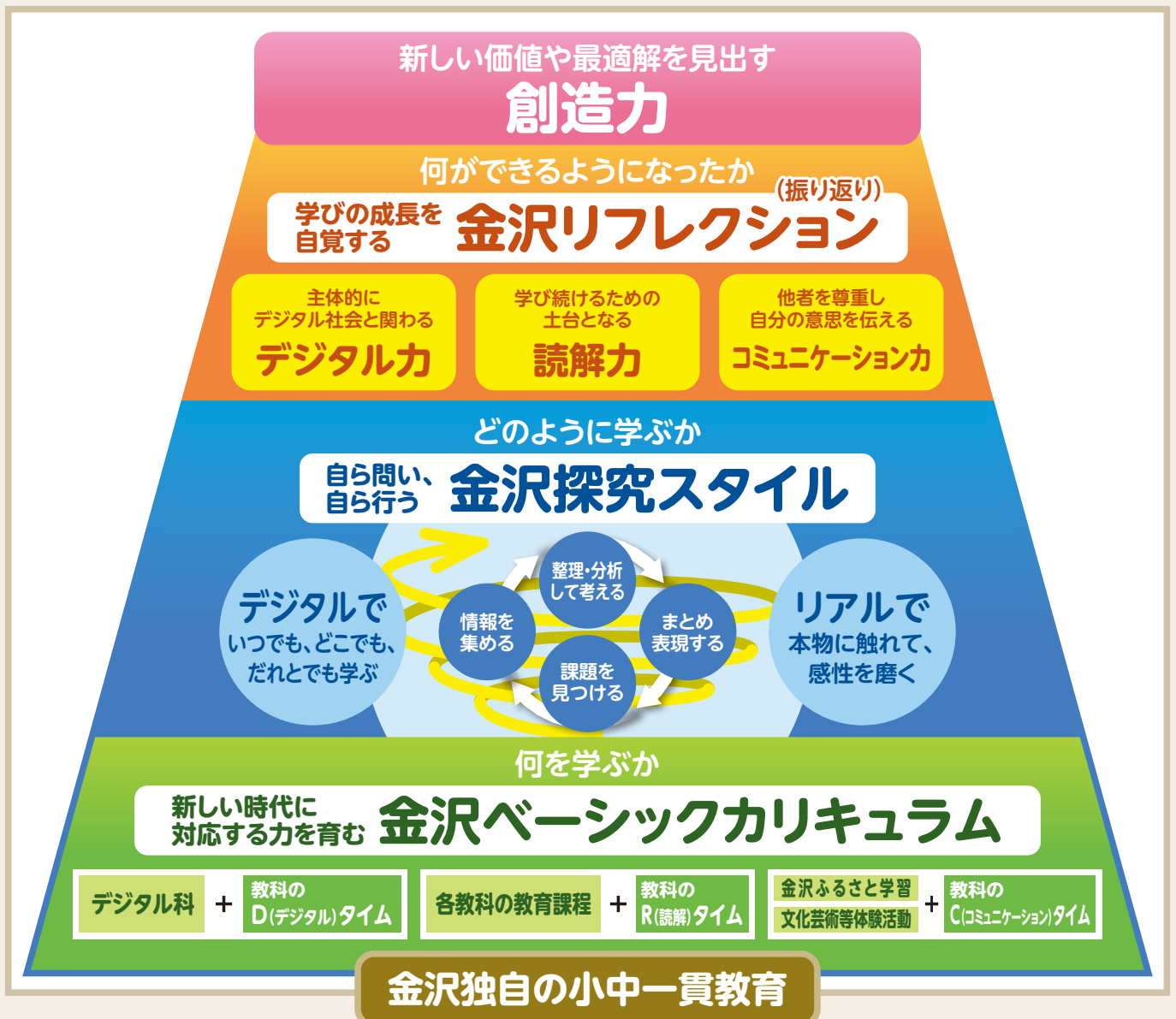
金沢市教育委員会

新金沢型学校教育モデルとは…

新しい時代が求める自学・共創の学びを通して、主体的にデジタル社会と関わる「デジタル力」、学び続けるための土台となる「読解力」、他者を尊重し自分の意思を伝える「コミュニケーション力」の3つの力を基盤に、児童生徒が「自分はどう思うか」「自分はどうしたいか」「自分に何ができるか」を考え、「自分」と「みんな」で新しい価値や最適解を見出す「**創造力**」を育む新たな学校教育モデルとして「新金沢型学校教育モデル」を構築しました。

「新金沢型学校教育モデル」は、児童生徒が「何を学ぶか」として新しい時代に対応する力を育む「**金沢ベーシックカリキュラム**」、「どのように学ぶか」として、自ら問い、自ら行う「**金沢探究スタイル**」、「何ができるようになったか」として児童生徒が学びの成長を自覚する「**金沢リフレクション(振り返り)**」の3つの要素で構成されています。

また、中学校区における小中連携を引き続き推進する「金沢独自の小中一貫教育」により、9年間を見通した連続性のある教育活動を展開し、児童生徒の学びと育ちをつなげていきます。



何を
学ぶか

新しい時代に対応する力を育む

金沢ベーシックカリキュラム

9年間を通して、3つの力を重点的に育成します!

新しい価値や最適解を見出す

創造力

主体的に
デジタル社会と関わる

デジタル力

学び続けるための
土台となる

読解力

他者を尊重し
自分の意思を伝える

コミュニケーション力

Digital

Dタイム

Reading

Rタイム

Communication

Cタイム

3つの力の育成を意識した学習に取り組めます

※各教科それぞれ学期に1回程度実施(小学校は10教科、中学校は9教科)

デジタル科の新設

- プログラミング学習の充実
- データ活用探究学習
- デジタル・シティズンシップ教育の充実
- 先端技術体験



※文部科学省の授業時数特例校制度や教育課程特例校制度を活用して、生活科や総合的な学習の時間の中で実施

ICT活用の充実

- ICTの日常的な活用
- ICTの効果的な活用



資料・新聞等の活用

- 文章・図表・動画等の幅広い情報を基にした学習の充実
- 複数の資料を関連付け、考えの形成、再構築を行う学習の充実

読書活動の充実

- 学校図書館の活用の推進
- 読書の質の向上に向けた取組
- デジタル資料と図書資料の利点の融合



金沢ふるさと学習の充実

- SDGsやG7教育大臣会合「富山・金沢宣言」の視点を取り入れた学習

体験活動の充実

- 伝統文化・工芸、歴史的建造物等に触れる活動
- 音楽、美術、劇等の本物に触れる活動
- 多様な価値観・文化に触れる国際理解教育



金沢独自の小中一貫教育

どのように
学ぶか

自ら問い、自ら行う

金沢探究スタイル

自分は思うか

自分はほしいか

自分に何ができるか

新しい価値や最適解を見出す

課題を
見つける

創造力

粘り強く
挑戦する

解決に
向けて深く
考える

他者と
協力して
活動する

感性豊かに
表現する



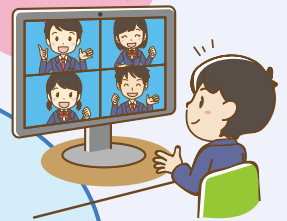
自分で



考えよう 整理・分析

- くらべると?
- つなげると?

みんなで

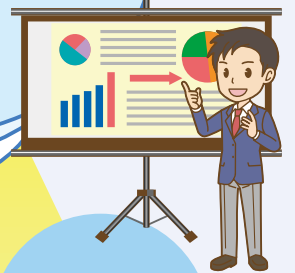


集めよう 情報収集

- 何を?
- どこから?

表そう まとめ・表現

- 誰に?
- どのように?



デジタルで



見つけよう 課題設定

- なぜ?
- どうする?



リアルで

デジタル力

読解力

コミュニケーション力

金沢型学習スタイル

「金沢探究スタイル」とは、金沢型学習スタイルとデジタル力・読解力・コミュニケーション力を基盤に、探究の過程を発展的に繰り返し、「自分はどうか」「自分はどうしたいか」「自分に何ができるか」を考え、「自分」と「みんな」で、「デジタル」と「リアル」で、新しい価値や最適解を見出す「創造力」を育む学びです。

探究的な活動の充実

各教科等の資質・能力の育成を図ることを重視し、そのために、課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現する探究的な活動の充実を図ります。

個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実

自ら課題や活動を選択する機会を設けたり、多様な他者と協働的に学んだりしながら、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。

デジタルとリアルの往還

様々な場面で、デジタルとリアルを使い分けたり、組み合わせたりしながら、教科の内容と日常生活を関係付けたり、各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせたりする学習を行います。

自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル

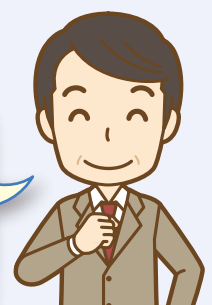
つかむ	学習のめあてをつかみます ◆前の学習と比べる ◆疑問を見つける ◆学習の見直しをもつ など	聞く 話す 書く 書いたり説明したりすることや みんなで話し合うことを大切にします
考える	自分で考えます ◆自分の考えを書く ◆わけをはっきりさせる など	
	自分の考えを伝え合います ◆分かりやすく伝える ◆大事なことを聞きとる ◆自分の考えと比べながら聞く など	
	みんな考えを深めます ◆考えを比べる ◆考えを整理する ◆考えを見直す など	
まとめる	「わかった」「できた」をまとめます ◆学習のめあてについてまとめる ◆学んだことを振り返る ◆「わかった」「できた」を確かめる など	
	学習の構えをそろえます ◆学習用具を準備する ◆チャイムと同時に始める ◆あいさつで気持ちを切り替える	家庭学習もがんばります ◆学んだことを確かめる ◆次の学習の見直しをもつ ◆くり返し、身につくまで学習する ◆時間を決めて学習する

・すすんで学び、考えます ・きまりや約束を守ります ・思いやりの心を大切にします
 「金沢子どもかがやき宣言」より

【金沢市教育委員会】

平成28年度より継続して実践

問題解決的な学びである「金沢型学習スタイル」を基に、児童生徒の学習をより探究的な学びに発展させるよう、「金沢探究スタイル」を推進します。



何が
できるように
なったか

学びの成長を自覚する

金沢リフレクション

新しい自分に気付きます! 今の自分をもっと好きになります!

新しい価値や最適解を見出す

創造力

自分や
みんなの
ことを考えて
ICTを使う



分かりやすく
プレゼンする



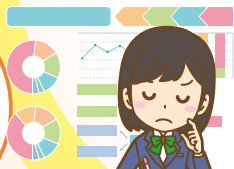
互いを
認め合い
対話する

生活の中で
上手に
ICTを使う



感じたことを
素直に
表現する

深く広く
学習するために
ICTを使う



自分から
情報を集めて
「なぜ?」を
読み取る

いろいろな
情報を正しく
読み取る

相手の思いを
読み取る

デジタル力

コミュニケーション力

自分で
みんなで

読 解 力

- いつもの授業で
- Dタイム・Rタイム・Cタイムで
- 金沢「創造」プロジェクトで
- 金沢リフレクションアンケートで
- 検定やコンクールで 等

「金沢リフレクション」は、児童生徒が3つの力を身に付けることができたかを振り返り、学びの成長を自覚する場です。

9年間を通して共通の視点で自分自身を見つめます。

金沢市教育委員会 教育長

野口 弘

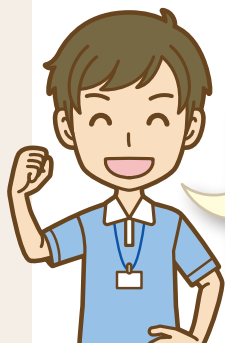
金沢は、未来を拓く世界の共創文化都市を目指し、伝統を守りながら、多様な人達が立場や世代を超えてつながり合い、新たな価値を創造し、持続可能な発展を続ける社会の実現に向けて取り組んでいるまちです。

子どもたちが金沢のよさを十分に生かし、新しい時代が求める「創造力」を育むことを期待します。



次期金沢型学校教育モデル構築会議委員長より教育長に答申書を提出(令和6年6月7日)

児童生徒がこれからの
社会の創り手として
必要な力を身に付けられるよう
支援します!



児童生徒がドキドキ、
ワクワクするような
授業づくりを目指します!

児童生徒の学びを
温かく見守り、成長を
一緒に喜びます!



次期金沢型学校教育モデル 構築会議

委員長

大谷 実 金沢大学 人間社会研究域学校教育系 教授

金沢の子どもたちのためにより質の高い教育の確立を目指し、学識経験者・有識者、経済・文化関係者、保護者・地域関係者、学校関係者が多様な視座から建設的な提案を行い、新金沢型学校教育モデルがつくられました。

金沢の子どもたちが明るく幸せな未来を創る力を育むことを期待します。

委員

折川 司 金沢大学 人間社会研究域学校教育系 教授

河並 崇 金沢工業大学 工学部情報工学科 教授

竹内明日香 一般社団法人 アルバ・エデュ 代表理事

藤平 敦 日本大学 文理学部 教授

岡 能久 株式会社能作 代表取締役会長
(元)金沢市教育委員

宮内 康範 石川県情報システム工業会副会長
株式会社PFU 取締役 常務執行役員

米井 裕一 コマツ石川株式会社 代表取締役社長
(元)金沢市教育委員

鶴山 雄一 金沢市PTA協議会 副会長

北側美恵子 金沢市子ども会連合会 副会長

山岸 朋子 金沢市立伏見台小学校 校長

坪内 真弓 金沢市立米泉小学校 教頭

田中 一宏 金沢市立高岡中学校 校長

皆川美都子 金沢市立犀生中学校 教頭

中田 智晴 金沢市立工業高等学校 教頭

「金沢型小中一貫教育」(平成28年度より実践)の成果と課題を踏まえ、中学校区の実情や児童生徒の実態に応じた小中連携を推進し、特色ある取組を大切にします。

金沢独自の小中一貫教育

中学校区グランドデザイン

9年間を見通した連続性のある教育活動を展開します!

小中一貫教育週間

教員の相互授業参観

中学校区内の小・中学校の教員が相互に授業参観する機会を計画的に設定し、それぞれのよさを生かした授業改善を推進します。

目指す子ども像の共通理解

中学校区の実情や児童生徒の実態に応じた小中連携を推進するため、全教職員による推進体制を構築し、中学校区における目指す子ども像の実現に向けた取組を考えます。また、「金沢リフレクション」の視点で9年間を通じた児童生徒の成長を見取ります。



金沢「創造」プロジェクト

児童生徒が学校や地域を創る活動

よりよい中学校区を目指し、中学校区別「創造」会議において、児童会生徒会が中心となって、児童生徒が主体的に取組を考えます。また、「金沢リフレクション」の場として、一人一人が成長を自覚できるよう工夫します。

あいさつ運動



清掃活動



学習発表



中学校区別「創造」会議



金沢リフレクション



私の中学校区の「創造」会議で、地域の方や保護者と一緒に、地域の清掃活動に取り組むことを決めました!

私の中学校区では、「防災」をテーマに中学生が調べたことを小学生に発表し、一緒に考えています!



●お問い合わせ先



金沢市教育委員会
学校指導課

〒920-8577 金沢市柿木畠1番1号 金沢市役所第二本庁舎
TEL: 076-220-2449 FAX: 076-223-4602
E-mail: gakkou_k@city.kanazawa.lg.jp



令和7年1月発行